

平成 18 年 7 月 13 日

各 位

会社名 株式会社鉄人化計画
代表者名 代表取締役社長 日野 洋一
東証マザーズ 2404
問合せ先 常務取締役
管理本部長 浦野 敏男
(電話：03 - 5773 - 9184)

平成 18 年 8 月期、業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 1 月 13 日に発表しました平成 18 年 8 月期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 8 月期の業績予想数値の修正（平成 17 年 9 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日）

（連結）通期業績予想

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	6,760	240	101
今回発表予想（B）	6,350	41	76
増減額（B - A）	409	281	177
増減率（%）	2.8%	- %	- %

当社は、平成 18 年 8 月期より連結財務諸表を作成しているため、前期実績は記載しておりません。

（個別）通期業績予想

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	6,090	221	92
今回発表予想（B）	5,444	42	59
増減額（B - A）	645	263	151
増減率（%）	10.6%	- %	- %
（ご参考：前期実績） 平成 17 年 8 月期通期	4,578	10	7

2. 修正の理由

今回の業績下方修正の主な要因は、カラオケ事業における新規大型店舗の十分稼働しない営業による影響のためです。

当社は、前期末と当期第 1 四半期に 1,000 m²を超える大型カラオケルーム 2 店舗をそれぞれ札幌市すすきの地区と新宿区歌舞伎町地区へ出店しましたが、すすきの地区においては、当社店舗の出店後に予想外に大型競合店が多く出店（4 店舗）したため短期間で競合激化になったこと、歌舞伎町地区においては、大型オーロラビジョンを利用するなど販促活動を強化してまいりましたが計画どおりに稼働率が推移しなかったこと及び新店イニシャルコストの負担増により当初想定していた期間以上に成長が緩やかなため、計画した営業業績に至りませんでした。いずれの店舗もその地区に見合った営業体制の見直しとてこ入れを施しており実績は緩やかながら上向きに転じておりますが、今後は更にイベント性を持たせた店舗運営や販促活動により成長のスピードを向上させる所存であります。

なお、今後においては、中小規模店舗向けの鉄人システム（ミニ鉄人システム）が当期に開発されたことを受け、出店時のコスト負担が比較的小さく、フル稼働までの成長が早い20ルーム前後の小規模店舗を積極的に出店していく所存であります。

また、当期においてM&Aにより100%子会社化した「からふね屋珈琲株式会社」のフルサービス型コーヒーショップ11店舗及び「株式会社クリエイト・ユー」の複合カフェ4店舗につきましては、買収当初の店舗オペレーションやコストの見直し、設備の一部改装、管理体制の整備、大幅なコスト効率化を目論んだ店舗運営システムの導入の取組み等による負担により当期における業績への貢献は希少と見込まれますが、いずれも状況は好調に推移しております。

以上のことから、業績予想を修正する次第であります。

以上

上記の業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。